

# タブレット端末を上手に使うために

～安全・安心に使うために知っておくこと～

## 第1章 ICTとこれからの社会

### 1 ICTって何？

皆さんは、コンピュータ機器（タブレット端末やスマートフォン、ゲーム機など）を、インターネットにつないで、友だちと勉強をしたり、ゲームで遊んだりしたことがありますか？

コンピュータ機器とインターネットを使って人と人とをつなぐ仕組みのことをICT（Information and Communication Technology）と言います。



### 2 どんな社会になるのだろう？

これからの社会は、ICTによって今までできなかったことが数多くできるようになります。すると、一人一人が快適で、活躍でき、希望のものを得る社会になるだろうと期待されています。

<今まで以上にできるようになること（例）>

- 知りたい情報を調べたいときに調べたり、いつでも情報を伝え合ったりすることができる。
- 人工知能（AI）の発達により、運転者なしに自動車を走らせたり、複雑な仕事をロボットにさせたりすることができる。

### 3 これからの社会で必要となること

ICTを使うことで、私たちは、遠く離れている人たちと簡単につながることができるようになりました。しかし、ICTはあっと間に情報を広げるため、予想もしないような問題も起こるようになりました。これからの社会では、ICTを上手に使っていこうとする気持ちや力が必要です。

<インターネットによって起こっている問題>

- SNSでのトラブル
- ネット詐欺
- コンピュータウイルスによる被害 など

<これからの社会で必要となること>

- 異なる出身地や文化をもつ集団の中でも、相手を大切にできる気持ち
- 自分で自分のことを良いと思える気持ち
- 異なる出身地や文化をもつ集団の中でも、自分らしさを発揮できる力
- 失敗を恐れず果敢に挑戦する姿勢・力
- ICTのトラブルに、落ちついて対応する力



## 1 ICTを使う上での課題

ICTは、人々の生活を「楽しく」「豊か」にするためのもの  
 ですが、使い方を間違えると、相手や自分の心や体を  
 傷つけたり、損害を与えてしまうこともあります。

<学校で起きた1人1台端末の問題>

(ニュースや新聞などで話題になったこと)

- ・不適切なメッセージを友達に送る
- ・授業中に授業と関係のないサイトを見たり、ゲームをしたりする。
- ・授業中に友達と通信しあって、授業とは関係ないことをしている。

(事件になったこと)

- ・SNSに友達の悪口や不適切な画像を投稿するなどして、いじめが起こってしまった。



## 2 どんな力を身につけたいか

スマートフォンやタブレット端末を使えば、手軽に知りたい情報を得ることができますが、図書室で本を読んだり、先生から情報を得たり、親や地域の人たちから話を聞いたりすることも、情報を得るための大切な方法です。

得られた情報が、すべて正しいとは限りません。どれが正しい情報なのか判断する力を身につけていくことが大切です。また、得た情報をヒントにして、新たな問題に取り組み、解決していけるようになることも大切です。

<学校で身につけたい力・姿勢>

- ・タブレット端末やスマートフォンなどを使って、情報を得る力
- ・本を読んで、情報を得る力
- ・人から話を聞いて、情報を得る力
- ・得た情報を、学習や生活の中で活用していこうとする姿勢



### 3 知っておきたいこと (ID、パスワード)

マイクロソフト チームズ      メタモジ クラスルーム  
「Microsoft Teams」や「MetaMoji Classroom」、  
ラインズ イー      つか      みな  
「LINE e ライブラリ・アドバンス」を使うには、皆さん  
ひとりひとり      わ      あ      つか  
一人一人に割り当てられているIDとパスワードを、使う  
たび      にゅうりょく      ひつよう  
度に入力する必要があります。なぜ、IDとパスワード  
にゅうりょく      りよう      きょか      もの  
を入力するのか、それは、利用を許可された者であるか  
くべつ      ほんにん      かくにん  
どうかを区別し、本人を確認するためです。

#### 「ID」とは

じぶん      たにん      くべつ      かいいんばんごう  
“自分と他人を区別するための会員番号のようなもの”です。

いちどき      きほんてき      か  
IDは一度決めたら基本的には変えることができません。

#### 「パスワード」とは

ほんにんかくにん      あんしょうばんごう  
“本人確認をするための暗証番号のようなもの”です。

ぜったい      だれ      し  
パスワードは絶対に誰にも知られてはいけません。



### 4 SNSなどで写真を利用するときには要注意！

じぶん      いばしょ      きろく  
<自分の居場所が記録される?!>

とう      き      き      さつえい      しゃしん      にちじ      ばしょ      じどうてき  
デジタルカメラやスマートフォン等のデジタル機器で撮影した写真には、日時や場所などが自動的に  
きろく      じどうきろく      オフ  
記録されるようになっていきます。自動記録をOFFにせず、SNS等に安易に写真を投稿すると、  
みし      たにん      じゅうしょ      し      おそ  
見知らぬ他人に住所などを知られてしまう恐れがあります。

うつ      とくてい  
<写っているもので、特定される?!>

しゃしん      うつ      みせ      かんばん      ふうけい      す      ばしょ      かよ      がっこう      し  
写真そのものに写っているお店の看板や風景から住んでいる場所や通っている学校を知られてしま  
うという危険性もあり、実際に事件も起こっています。



## 1 学校で気をつけること

### (1) 教室の明るさに気をつけよう

暗いところやとても明るいところで電子黒板やタブレット端末の画面を見ていると、目が疲れてしまい学習を続けられなくなることがあります。

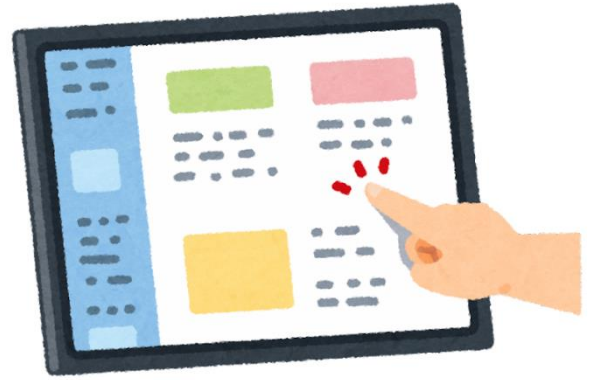
- ・教室が明るすぎるときにはカーテンを使いましょう。
  - ・端末が使いやすい明るさになるよう、調整しましょう。
- ※調整の仕方は、先生に聞きましょう。

### (2) 画面を見やすく保とう

タブレット端末の画面が見えにくいと、目が疲れ、学習を続けられなくなることがあります。

＜タブレット端末の画面を見やすくする工夫＞

- ・姿勢を良くする。
- ・授業の進行にあわせて、使わない教科書や道具などを片づける。
- ・画面に照明が映りこまないように、自分でタブレット端末の画面の角度を調整する。
- ・画面の明るさを調整する仕方を身につける。
- ・同じ姿勢を長時間続けないようにする。
- ・電子黒板やタブレット端末の画面を長時間見続けないようにする。



## 2 家で気をつけること

### (1) 端末を使うときの注意点

- ・目を、画面から30cm以上、離して使う。
  - ・30分に1回は、20秒以上画面から目を離して、遠くを見る。
  - ・部屋の明るさに合わせて、画面の明るさを調整する。
- ※紙の本や資料を読む場合でも、あてはまります。

### (2) 時間のルールを決める

いつどのように使うか、おうちの人と話し合い、ルールを決めておきましょう。

＜最低限、守ってほしいこと＞

- ・少なくとも、寝る1時間前からは、デジタル機器を使わないようにする。
- ・学校で配られた端末は、学習に関係ない目的では使わない。



タブレット端末を上手に使うために～安全・安心に使うために知っておくこと～

2022(令和4)年10月作成  
浦安市教育委員会